



谷地区活性化協議会だより

平成 22 年 2 月 No.8
発行 谷地区公民館
Tel 24-1636



出番です！！ あなたもわたしも全員参画 夢を現実に 全員参画だ！！

谷地区活性化協議会では、谷地区の住み良い「まちづくり計画（コミュニティ計画）」を今年度末までに策定するよう、現在、3つの専門部会（生活・環境部会、健康・福祉部会、特色ある地域づくり部会）で協議を進めています。

専門部会では、皆様からご協力いただいたアンケート結果を基に、地域の現状や課題を抽出し、地域づくりの目標を定め、目標を実現するための事業（活性化策）を検討してまいりました。もちろん、計画は一回で仕上がるものでなく、短期・中期・長期など、到達点を見定めつつ、計画し、実行し、検証し、改善していく（この繰り返しの）必要があります。

このたび、現在までの協議の状況を皆さんにお知らせしますが、事業案、内容とも、確定したものではありません。更に協議を続け、皆さんのご意見もいただきながら、具体的にまちづくりを進めていきたいと思っております。

今後のスケジュールとしては以下のとおりです。

3月上旬まで	専門部会協議（部長、副部長会議含む）
3月中旬頃（前半）	活性協拡大役員会（役員・専門部部長、副部長）
3月中旬頃（後半）	活性協総会……「まちづくり計画（コミュニティ計画）」の策定

「コミュニティ計画」ができあがると、計画に基づき、事業実施となります。このまちづくりは、活性協の委員、役員だけでできるものでないことは言うまでもありません。地域住民の皆さんの参画が是非とも必要となります。

この「コミュニティ計画」を実施するにあたっては、必要に応じて皆さんへの説明の場を設けることとしています。谷地区を、「自分たちのまちは自分たちが創るんだ」という気持ちで、皆さんと一緒に考えながら進み、進みながら考え、まちづくりに取り組もうではありませんか！

谷地区活性化協議会 会長 岡垣宏治

《谷地区まちづくりの目標（骨子）》

○谷地区の恵まれた自然、歴史、文化を大切にし、地域に誇りを持ち、このまちに住んで良かった。また、いつまでも住み続けたいという、安全・安心で希望ある地域づくり

○参加と協働により、支え合い思いやりのある、住民主体の活力ある地域づくり

<生活・環境部会>

○自治会、各種団体等と連携し、防災・防犯活動を行い、安全で安心なまちづくりを進める。ま

美しく豊かな自然環境を保全し、環境美化活動として地域一斉清掃などを行い、美しいまちづくりを進める。

事業案	内容等
環境美化活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ゴミ拾いしながら、小学校の通学路の点検を行う。（家族でウォーキング） → 安全マップの作成 ○地域の中を歩くことにより、「発見」がある。現状を見て感じて、課題を見つけ解決の方法等について話し合う。 ○地区内の一斉清掃を行う。 ○環境問題についての「講座」等により、住民の意識高揚をはかる。 ○「水辺の楽校」（岡益橋下手）について利用、管理受託等ができるかどうか調査する。（行政との折衝）
防犯活動	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの登下校時の見守り ○小学校の見守りパトロール隊と活性協との協働活動を検討する。
交通安全活動 （安全タスキ着用運動）	<ul style="list-style-type: none"> ○安全タスキ、反射テープ、反射リストバンド等を自治会を通して普及させる。 ○交通安全等にかかる出前講座（集落の公民館へ）を開催する。
防災活動	<ul style="list-style-type: none"> ○消火器の使い方講習（自治会でもやっていないところもあり活性協で） ○消防ポンプ、消火栓点検等の呼び掛けほか
自然環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ○谷地区の自然探究、観察活動により、実態を知る。 ○自然環境を考える「講座」等により、住民の意識高揚をはかる。 ○休耕田を活用し、れんげ、コスモス等を植える。

<健康・福祉部会>

- 住民相互の連携・連帯を図るとともに、健康で心豊かに暮らしていけるまちづくり
- 皆が支え合って高齢者、障害のある人はもちろんのこと、すべての住民が安心して暮らしている。
- ていけるまちづくり

事業案	内容等
しゃんしゃん体操の普及 (市が進めている健康運動。立位でも椅子に座ってでもできる体操。介護予防、ふれあいを目的としている。)	○公民館はもとより、各自治会での実演、運動会での発表など、普及させ健康増進をはかる。
健康ウォーク	○健康増進、住民同士の交流をはかる。 ○健康づくり推進員委員との連携(ウォーキングマップの作成も)
健康講座 (健康教室)	○情報の提供と、健康管理の推進をはかる。 ○食生活を見直すための料理教室等の開催 食生活改善推進委員との連携
災害時要援護者支援制度の体制づくり	○現在、谷地区はモデル地区として、自治会長会、民生児童委員協議会と連携して鳥取市へ対象者の登録を行っている。 ○災害時はもちろん、日常的な声かけ、見回り等、要援護者の支援を地域ぐるみで行う。
高齢者のふれあいの場所の提供・情報の提供	○高齢者が集まりやすいように、自宅から歩いていける自治会の公民館に気軽に集い、ふれあいを通して、仲間づくり、生きがいづくりをしてもらえるよう、活性協で企画し、住民の皆さんと協働して活動する。 ○「健康講座」等を開催する。
集落の歴史や文化の伝承 (高齢者の活躍する場面づくり)	○高齢者の方に、各集落の歴史や文化、伝統などを語って貰うなど、谷地区全体のまとめができるよう活性協で企画する。 (実際に活動されている自治会を参考に)

<特色ある地域づくり部会>

- 歴史と文化を大切にし、地域の特色を生かしたまちづくりを進める。
- 地域住民の誰もが顔なじみとなり、お互いに助け合い、支え合いながらまちづくりを進める。

事業案	内容等
マナーを良くする活動	○気持ち良く生活できる環境づくり ○あいさつができる人間関係 ○啓発活動 (あいさつ標語の募集、キャンペーン活動)
歴史と文化を大切にする活動	○文化財、史跡、郷土の伝統芸能を見直す (傘踊り、笠踊りのシンボル化) ○各集落の自慢(文化財、お宝等)の発掘 ○情報の共有化、地域からの発信 ○観光案内版の設置等
花いっぱい運動	○谷地区の顔として「お花ばたけ」を充実させる ○地域、集落、家庭での花いっぱい運動の実践 ○花苗、種、肥料などの配付
コミュニケーション広場(施設)の確保	○公民館ほか、活用場所の検討、整備 ○遊休施設(空家等)の活用策の検討

※ 現時点で、部会間で重複する(関連する)事業は、計画策定時には調整することになります。



谷地区公民館が「活性化協議会」の事務局を担当しています。取組状況や検討内容に対するお問い合わせ、ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

Tel 24-1636 Fax 24-1646

